

参加された方のアンケート集約

参加された皆様 アンケートご協力ありがとうございました。

講師の方にお伝えするとともに、今後より良い取り組みを行えるようにするための参考にさせていただきます。

文章表記等、基本的にお書きになった原文そのままにしておりますが、一部、必要に応じて書き換えさせていただいておりますことご了承ください。

なお、同じような意見を複数の方がお書きになっている場合、割愛させていただいているものもあります。

1、各分科会について

A 合理的配慮について

～教室環境整備とユニバーサルデザイン授業について考える～

後上 鐵夫氏 (大阪体育大学教授)

- ◎整然とした内容構成で、ちょうど聞きたかったことがお聞きできました。その他にも多岐にわたり、細見心得、次からの目標策定や声掛けに すぐ使えそうなものがあり助かりました。(小学校)
- ◎丁寧にお話して下さり、内容がとてもよく分かりました。日頃の取り組みを振り返ると、疎かになっているところもあり、自分を振り返るいい機会となりました。様々な担当の先生方と連携し、子ども一人ひとりが意欲的に学校生活に参加、参画できるように明日から取り組んでいきたいと思ひます。ありがとうございました。(中学校)
- ◎インクルーシブ教育システムの具体的な内容についてよく理解できた。
- ◎4月以降施行の合理的配慮について、情報の共有を図る場を大支援研でもっていただけると幸いです。(中学校支援学級)
- ◎今までに合理的配慮についていろいろ話を聞いてきて、大変だなあという感想を持っていたが、今日のお話は具体的な内容も多かったので学校に戻ってから通常の学級担任にも伝えていきたいと思ひました。(小学校支援学級)
- ◎合理的配慮についてのお話やUD 授業についての丁寧なお話、分かりやすかったです。また、学校の方で先生方にお話ししたいと思ひます。(小学校)
- ◎幅広い範囲の知識(現状)を改めて学ぶことが出来ましたが、後上先生は具体例をたくさんご存知のようなので、もっと具体的なことも知りたいと思ひました。(小学校支援学級)
- ◎具体的なお話を聞き、頭の中が少し整理されてきたような気がします。合理的配慮の観点を見て、どこが出来ていて、どこが出来ていないかを確認し進めていきたいと思ひます。評価については、市によって違うだろう。なので、これからの検討、課題ではないかと思ひています。(中学校支援学級)
- ◎大変勉強になりました。もっと色々お話を聞き、学校職員に伝達していきたいと思ひます。校内研修で来て頂くことは可能でしょうか。(中学校支援学級)
- ◎非常に分かりやすく、この研修をもとに校内での特別支援教育のシステムを作りかえていこうと思ひます。(中学校支援学級)
- ◎『合理的配慮』はよく耳にする言葉ですが、なかなか意味が分からずにいました。今日、具体的にわかりやすい講義をお聞きし理解が進みました。

- ◎先生の話が聞きやすくわかりやすかった。合理的配慮の基礎となる環境整備の必要性、UDの大切さが確認できた。校内でどこまで理解できているか再確認あるいは、皆で学習する必要性を感じた。(小学校支援学級)
- ◎特別支援教育に関する社会理念についてなど、非常に専門的な部分から授業づくりや環境づくりなど、具体的な部分までご教授頂きとても勉強になりました。(小学校)
- ◎北摂地域での支援学級の在り方について聞き、本当にそれが支援になるのか疑問に思っています。これからは『インクルージョン (包含)』～すべての子どもを包みこむ教育システム～の方向で進んでいるのだと伺い、権利や必要性は理解できても、人手、教師の技量、設備などもっともっと厳しくなるのではないかと心配になりました。社会環境もずいぶん変わり、安心できるはずの家庭でさえ多忙さや貧困で、障害の有無だけでなく、子ども達は色々な問題を抱えて学校へやって来ます。そんな子ども達だからこそ、少人数でほっと出来るスペース、ほっと出来る時間が保障されるべきではないのでしょうか。よく出来る子ども達の保障もあるとのことでしたが、満たされた家庭環境の子ども達であることが多く、公的施設の役目として平等の視点から考えるべきではないかと色々考えて話を伺っていました。大阪は、今、学力重視の競争を煽り、教師も子どもも疲れストレスの中であえいでいるように感じます。笑いあり人情のある温かな大阪本来の良さを伝承していけるような大阪の教育であって欲しいと願いながらお話を伺っていました。講師先生の穏やかで丁寧な講義、充実した時間でした。(小学校支援学級)

B SSW視点・法的視点からの生活指導・支援と保護者対応

～愛情保障と発達保障のためのアセスメント・プランニングのポイント～

峯本 耕治氏 (弁護士、府教委SSW事業スーパーバイザー)

- ◎ 実際に学校で対応に苦慮する保護者が存在する。ひたすら話を聞いており、2・3時間にわたり、電話対応をするケースもある。教師はとても疲労し、肉体的だけでなく精神的にも負担を強いられている。限界の設定はとても大切であるし、信頼関係が構築できないこととは別なのだとよく分かった。
- ◎ 暴力的、威圧的な態度は不安の裏返しであるとよく分かりました。
- ◎ とにかく、今日お話を聞いてよかった。その一言に尽きる。今、学校で抱えている問題を解決する糸口が見つかりました。そして、長い教師生活の中で疲れて見えなくなっていたものが、改めて見えたように思いました。学校に帰って、他の教職員にもしっかりと伝えて対応していきたい。
- ◎ 具体的な例をたくさん挙げていただき、大変参考になりました。すぐに実践・実行するのは難しそうで、経験を積んでいくのが大切だと思いました (あまりしたくない経験ではありますが…)。何よりもまず、目の前の子どものことをしっかりと理解したいと思います。
- ◎ 学級崩壊を今年度体験したが、なぜそうなったか、先生の話聞いてよくわかった。嘘をつき通す児童もおり、目からウロコが落ちる思いでした。
- ◎ 目からウロコでした。私はまだ経験が浅いのですが、先生に教えていただいたことは、とても分かりやすく、実践に活かせることばかりだった。
- ◎ 学校において、SSWを必要としている児童がとても多く、今回の話を聞きながら、関連する児童がたくさんいた。もっと聞かせてもらいたいことがあり、また別の機会があれば参加したいと思う。
- ◎ とても具体的な内容でわかりやすかった。特に子どもの対応だけでなく、親に対しても初期的アセスメントの大切さ、必要性を感じた。
- ◎ 挙げられている子どもの姿に具体的な名前がはまっていたり、今抱えているケースにほぼ重なるお話をうかがえて整理がついた。大きく間違っていないこともわかり、安心できました。いかにして相手を見る余裕を持つか、それを維持できるのが課題だと思った。
- ◎ 先生のお話は何度聞いても新しい発見がある。現場をよく知っておられ、具体的対応のアドバイスも参考になった。また、機会があれば参加したい。

- ◎ ①アセスメントに情報共有が不可欠。②孤立を防ぐ。③孤立からくる教育対応の萎縮を防ぐ。④役割分担によりいい結果が出やすい。以上4つのポイントが教育現場では大切であると理解した。
- ◎ 先生が多くのかすに関わってこられているので、具体的な対応や声かけの仕方をお話の中で聞かせてもらうことができた。大変役立った。「無理なことは無理」と限界設定してはつきり伝えてもいいんだと少し楽になった。
- ◎ 保護者や子どもへの対応がもう少し丁寧に見えるよう心がけたい。感覚でしていることを、理論として形作ることがいかに大切かということが再認識できた。
- ◎ 話を聞きながら、いろいろな生徒の顔が浮かんでくるような研修だった。いろいろなケースの話をもっと聞きたかった。研修で聞いたことを現場で活かして、子どもたちに接していきたい。
- ◎ 聞く話ひとつひとつが担当している子どもと重なった。被虐待の可能性のある児童が荒れていて対応している。今回のお話は、即現場で伝えようと思った。同時に母として子どもにイライラして強くはなくても手をあげてしまうことが時々あり、「暴力は必ずエスカレートする」というのを自分の中にしっかり留めておかねばと思った。
- ◎ 愛着障害からくる問題行動に対するアプローチ方法を、ケースを交えて話してもらってとても勉強になった。
- ◎ 私の学校では、荒れたクラスが何の会議もされず、事態は悪くなる一方なので、ぜひ先生に学校に来て話していただきたいと思った。
- ◎ 日々悩んでいたことに答えていただいた。明日から実践したい。
- ◎ 今、現場で困っていること、そのことについて教えていただき大変よく分かった。今日学習したことを常に頭に入れて、愛情ある指導をしていきたいと改めて感じた。
- ◎ 学校全体で情報の共有の必要性やケース会議の持ち方など現場でも取り入れられたらと感じた。ただ、管理職の意識にSSWの視点がなければ学校が動かないような気になった。
- ◎ 今学校にいる子、今まで関わってきた子、親、家庭、我が子、様々なことを思いながら話を聞きました。愛着に課題を持つ子が年々増えてきている。アセスメント→愛情確認→指導→エンパワーを頑張っていると思う。是非、市全体で話を聞ける場を設定したい。
- ◎ 具体的なケースや対応での配慮について、教師としての大切なスタンス的に話していただいて、納得できることが多かった。アセスメント&プランニングをチームで行えるよう、今後校内で取り組んでいきたい。
- ◎ 見て見て行動の多い子ども、ぴったりあの子だという子どもがいる。学校でチーム対応をして、明日から支援していきたい。愛情不足の親を変えていくのは大変だが、学校の方でできるだけ愛情を確認して進めたい。
- ◎ 今、一番関心のある課題でした。話は具体的でわかりやすかったです。レジユメを読み返して、わかりやすくまとめて職場にしっかり伝えたいと思う。
- ◎ 日ごろの不安の解消につながり、力をもらって帰ることができた。
- ◎ 現在の職場の状況に重なることが多くあった。
- ◎ 子どもの症例が具体的で対応するためのアセスメントの有効性などが分かり、とても勉強になった。
- ◎ 教師にとって必要で、苦手な保護者対応について説明していただきました。自分も反省することが多いです。
- ◎ 2時間があっという間で、もっとお話が聞きたかった。今まではなんとなくでしたが、やっていたことがはっきり裏づけしていただいたので、学校でも自信を持ってケース会議をしていきたいと思う。
- ◎ 日々悩んでいる話が聞けて、本当に来てよかった。全員の前では質問できないこともあるので、終了後に先生は残ってくれればうれしい。
- ◎ これまでの経験上、感じてきたことややってきたことを裏付けられたと思った。

- ◎ しんどい環境の子どもほどストレートメッセージが有効、本当にそう思う。10年前にSSW視点を提案していただき、ケース会議を早くから取り組んだ市で中心となって働いた。10年経って定着はしたものの、世代の入れ替わりとケース会議の複雑化でなかなか組織化されず、個人のキーパーソンの力でやっている感が否めない。峯本先生がおっしゃるSSW視点を身につければ大変仕事が楽になる。是非、全ての教職員の広まり深まるよう、更になんぼりたいと思った。支援と生徒指導上の問題行動はとても深くつながっている。そこをしっかりと理解を深めていくと、特に中学校現場は楽になる…というメッセージのように聞こえた。
- ◎ 資料がとても充実しており、貴重な内容だった。本校では（他校でもそうかもしれませんが）、担当する子どもが山ほどいる。日常の事象と方針を整理するのに、今日のお話は大変参考になった。
- ◎ 学校現場では、教職経験の少ない先生方が増加し、日々生懸命子ども対応、保護者対応されている。しかし、忙しさのあまり。子どもの目先の行動に振り回されたり、保護者からのクレームなどで日々悩み、つらい思いをされている場面を多く見る。今日の研修のように、様々な事例を多く取り上げていただきながら、目先の行動にとらわれずにアセスメントをしっかり立て、生徒指導や保護者対応のポイントなど、実践的で具体的名解決に向けた方法など、事例を交えた研修を今後も行ってほしい。

C **ビジョントレーニング** ～アセスメントと効果的な指導法～

北出 勝也氏（視機能トレーニングセンターJoy Vision代表、米国オプトメトリスト）
井阪 幸恵氏（和泉市立国府小学校）

- ◎たいへん参考になりました。アセスメントの方法、具体的なトレーニング方法をたくさん教えていただき、すぐにやってみたいと思います。また、通常学級の先生方にも広げていけたらとおもいます。
- ◎とにかく具体的ですごく分かりやすく、必死になってメモをとっている自分がいました。資料をふり返り、いろいろ考え取り組んでいきたいと思います。
- ◎子どもが楽しく取り組めて見る力がついたら本当にいいなと思います。
- ◎北出先生、井阪先生お二人からすごく具体的ですぐにつかえる方法をたくさん教えていただきました。ワーキングメモリーの板書についての質問にもこたえていただき有難うございました。
- ◎実際にトレーニング方法を学べて大変良かった。来週から、個別の学習の中で取り入れたいと思います。
- ◎今日のお話を聞いて、ビジョントレーニングの良さを改めて感じました。さっそくやっっていこうと思います。
- ◎ペアで出来るビジョントレーニングは、ふれあいもあり仲間づくりにもつながるなと思いました。やってみたいです。
- ◎ビジョントレーニングだけでなくワーキングメモリーについて具体的な実践を聞かせていただき、すぐに本校で実践していこうと思いました。本当にわかりやすかったです。
- ◎私の学級にも視覚にしんどさをかかえる子がいます。今回の先生方の話を聞いて実践しようと思いました。学力と目の力の関係もあるのだなと改めて感じました。
- ◎北出先生の本を読んだことはあるのですが、今日お話が聞けて大変よかったです。井阪先生の具体的な指導法すぐに使えそうです。学校としてどのように全体で進めていくかは、少しずつですが、まずは今日の研修内容を伝えていこうと思います。
- ◎非常に興味ある内容、講師の先生だったのでとても良かった。すぐに使えるトレーニングがたくさんあって良かった。
- ◎学級に、音読のとばし読みがいて気になっていました。ビジョントレーニングを見つけましたが、何から始めたらよいかかわからず今日の講座に申し込みました。私もやっついて楽しかったです。今日のように、楽しく子どもと教えてもらったトレーニングしてみたいなと思いました。

- ◎とても参考になることばかりで本当に来てよかったと心から思いました。ビデオもわかりやすかったですし教材も買ってみたいと思いました。
- ◎とてもわかりやすかったです。明日からすぐに取り組みたいという気持ちになりました。通常学級でも支援学級でも取り入れるといいですね。
- ◎実践できる内容をたくさん提示いただき、大変参考になりました。
- ◎間接的に知っていたビジョントレーニングでしたが、実際に北出先生と井阪先生にお話を聞いてよりわかりやすくなりました。
- ◎担当している子どもの中に、読みとばす、図形の形がとれない、行が二重に見えるといったお子さんがいます。それらの原因がどんなところにあり、どう対処すれば良いのか教えて頂けるチャンスがあり、とても感謝しております。PCソフト早速ダウンロードして学校で使ってみます。
- ◎ぜひ、学校で取り入れたいと思います。自分の出来る所からでも校内で広めたい。「子どものために」という気持ちも伝わってきていい研修ができたと思います。
- ◎実際にトレーニングするもの、歌などがあったのでやってみようと思えました。
- ◎見え方に困難さを感じる子どもがいるので参加しました。実践に取り入れたいです。ビジョントレーニングをすることで、ディスレクシアの子どもも読み書きの力がつくのでしょうか。
- ◎具体的な実践や科学的な情報をまじえてご講演いただきとてもわかりやすかったです。今後、私の学校でもビジョントレーニングを取り入れていきたいと思っており、具体的に、子どもたちにどのような効果があるのか伝えていけるとおもいました。
- ◎目の体操やナンバータッチなど、明日から使えそうなものをたくさん紹介していただき、とても勉強になりました。今、私が見ている子どもの中にも視覚認知の苦手な子どもがいるので、少しずつ取り入れていきたいと思います。子どものアセスメントの仕方も学んでいきたいなと思いました。今日は貴重なお話ありがとうございました。
- ◎北出先生の専門的なお話と、井阪先生の具体的なお話と両方聞けてとても良かったです。通級でやっていることが、間違っていないとわかり、自信になりました。学校全体でどう取り組むか？通級は週1回ですがどうやって毎日やっていくか？が、今後の私の課題です。
- ◎ビジョントレーニングの意味がよくわかりました。トレーニングの実践がよくわかり、子どもたちへの効果についても期待が持てそうです。
- ◎目の体操をはじめました。どんな効果が出るのか楽しみです。もっといろんなトレーニングを知ったのでやってみます。
- ◎読みとばしなど「しっかり読むよ」「目で追って」など漠然とした指導をしていたが、その背景にある困難さをしっかりと見極めていきたい。
- ◎授業で少しだけビジョントレーニングを取り入れています。もっともっと実践していきたいと思いました。ありがとうございました。
- ◎以前、聞いた話かと思いましたが、指導実践なども交えて教えて下さり非常に勉強になりました。支援学級で実践しているビジョントレーニングをまた1つ、2つと発展させていきたいと思います。お休みの中、またお忙しいたくさんの方を教えて下さりありがとうございました。
- ◎以前から本で見えて知っていましたが、実際に自分からするには初めてでした。たいへん興味深く話を聞きまし、また楽しくトレーニングも出来ました。一回うちの学校でもやってみたいと思います。

D 研究部担当 各地区からの実践報告

通級指導教室での読み書きに困難を抱える児童の支援

赤瀬 瞳氏（富田林市立富田林小学校）
土井三和子氏（富田林市立川西小学校）

- ◎通級を担当していますので、他市でどのような取り組みをしているのか知りたくて、どうか勉強したくて参加しました。子どもの見立て→指導計画（何をターゲットにするか、どういう教材を使うか）→実際の指導（45分に何を盛り込むか）など、どのようになされているのが、とてもよくわかりました。普段、他市との交流がありませんので、とても刺激を受けました。
- ◎日頃、ていねいにされている実践が聞けてよかったです。いろいろな実践資料も見せていただき、とてもよかったです。もっとたくさんの方に知っていただけたら、もっとよかったですように…と思いました。よい研修会を企画してくださってありがとうございました。AもBもCも参加できたら、なおよかったのに…と思いました。
- ◎気になっていた DAISY（デイジー）の紹介から、早期アセスメントなど、興味深い話があり、あっという間の時間でした。校内でも発信したいです。
- ◎支援学級にいる子どもの参考になるかと来させて頂きました。知らない DAISY（デイジー）教科書のこと、検査、etc、とても勉強になりました。先生方が勉強されていること、私自身とても刺激になりました。子どもたちのためにがんばらないと…。
- ◎マルチメディアデイジー教科書のことを教えていただき、よい勉強になりました。読みづらさをまず見つけてあげることが、学習以前のことと思ひ、又、学級の子どもたちと学んでいきたいと思ひます。
- ◎初めて耳にすることもありましたが「そうだ。そうなんだ。」とわかりやすい事例についていろいろ話してくださってありがたかったです。職場の方々も別の講座に参加しているので、交流して日々に役立てたいと思ひました。
- ◎とても参考になりました。学級全体で（支援学級、現学級、担外など）取り組んで行かねばならないと感じました。学級に持ち帰り広めていきます。
- ◎子どもの困り感に寄り添って具体的な分析に基づきながら必要な手立てや支援を行っておられる様子がよくわかりました。
- ◎楽しく使えそうな教材も教えていただけたので使ってみたいと思ひます。

2. この研修会の運営全体についてのご意見をお書きください。

(参加申し込み～事前準備～当日運営 その他)

- ◎今回、行きたい分科会が複数ありました。午前・午後で同じ内容を2回ずつといったことは難しいでしょうか？
- ◎役員の方が良く動いてくださっていた。
- ◎受けたい講座が複数ありました。複数受けるためには、どうしたら…。時程を示していただけると見通しが持てるのですが。
- ◎こんなにいい研修会があることを、あまりみんなに知られていないのがもったいないです。もっともっと宣伝していただいていたいいと思います。
- ◎受付期間が延びて申し込みができました。メールでの確認があり、わかりやすかったです。当日の部屋がわかりにくく感じたので、会場図があれば嬉しいです。受付の朝のあいさつ、気持ちよかったです。ありがとうございました。
- ◎HP から申し込みができ、又、すぐにお返事をいただきありがとうございました。
- ◎とてもスムーズで、日程設定もよかったです。当日もテキパキ進んでよかったです。
- ◎ネットからの申し込み、スピーディな返信がよかったです。
- ◎朝早くからの準備、運営ありがとうございました。講師依頼等、難しい場面もあったかと思います。今後も現場に役立つ話が聞けるよう、続けて欲しい。
- ◎メールでの申し込み以外の方法 (Fax など) も認めてほしい。
- ◎今回は午前のみだったので、たいへんかと思いますが午前、午後の講座があると嬉しいです。
- ◎メールでの連絡は申し込むのがとても楽でした。参加できるのかのメールも早かったので助かりました。
- ◎ていねいに対応していただきありがとうございました。
- ◎HP からの申し込みがわかりやすく、確認のメールも早く送ってくださってとてもよかったです。
- ◎初めて大支研の冬季研修会に参加しました。また HP で案内をみつけ参加したいです。今回は学校に案内を送っていただいたので参加できました。
- ◎メールの申し込みのしかたがとてもわかりやすかったです。
- ◎今回 C と D 両方に関心があったので、どちらに申し込むか悩みました。午前、午後にしていただくと、1日でも2つ参加できるのでうれしいです。
- ◎実践的な内容の話聞く機会は少ないので、お考えいただけるとありがたいです。
- ◎もっとたくさん先生方に来てもらいたい内容でした。
- ◎とても勉強しやすかったです。
- ◎夏の府教センターと比べると冬季研はアクセスが良かったので非常にありがたかったです。できれば、多少の資料代がかかってもこちらがいいです。

3. 大支援研として、これから、どのような研修会や講演会を行えばよいでしょうか。

できれば、具体的なご提案やご意見をいただければ、幸いです。

- ◎SST グループ学習について
- ◎不登校や通常学級に入れない児童の支援方法について
- ◎特別支援教育については、支援教育関係の先生ではなく通常学級の先生にも関係があるので、もっと広く広報すればいいのではないかと思います。
- ◎発表の後に、通級担当者の交流会があれば嬉しいです。
- ◎脳のはたらきについて「安原 Dr.」のお話。

- ◎通常学級担任への具体的な支援アプローチや教材・教具の提示を市町村レベルでおこなってほしい。現状では現場の多忙感によって、研修参加が弱くなっている。市町村でタイアップして、現場の近くでの研修の場をつくってほしい。今のままでは現場がもたないという「危機感」を全教職員で持てるようにお願いします。
- ◎合理的配慮・環境整備の具体例を知ることができればありがたい。
- ◎今回の冬季研修は、どれも参加したい分科会ばかりで迷った。Bに参加したが、Aの「合理的配慮」もこの4月からの障がい者差別解決法の施行もあり、タイムリーな企画だと思います。
- ◎小学校に勤務していて、支援学級や通級学級に在籍、または入級をおすすめしたい保護者と、うまく繋がっていくことの難しさ痛感している。この辺りの研修していただけるとうれしい。
- ◎何回もあると役立てていいと思う。
- ◎今回のような教師のスキルアップ。話し方、聞き方講座。
- ◎福祉関係の方の話や学校外からの話をもっと聞きたい。
- ◎性教育の研修。
- ◎SSWについてもう少し聞きたかった。WISKⅢの解釈、KABCⅡの解釈もお願いしたい。
- ◎校内の支援体制の作り方やその運営方法。
- ◎SSTの具体的な指導方法を教えていただきたい。
- ◎副島賢和先生を呼んで欲しい。
- ◎今回のような現場で役立つ講演会は本当にありがたい。
- ◎インクルーシブ教育の充実の観点から様々な分野へのアプローチの中で、支援教育を学ぶことが必要だと思う。
- ◎友だちとの関わり方、こんな時どうすればいいか？など
- ◎今回のようにすぐ使えることを教えて頂けると嬉しいです。
- ◎通常学級担任が実践してみようと思えるような支援方法
- ◎ICT関連
- ◎すぐに指導に役に立つような研修会はとてもありがたいです。
- ◎市の支援教育研修にも来てお話をしていただきたいと思いました。
- ◎受けたい講習が他にもあったので、講師先生のご都合もあると思いますが再度開催してほしいです。
- ◎実践+科学的見解を知ることのできる講演会をお願いしたいです。
- ◎パソコン、iPadを使った指導に関する事例など

※ アンケートにお書きになられた貴重なご意見に対して感謝申し上げます。
今後の参考にさせていただきます。

- ☆ 参加申し込みについて、準備の関係で事前の申し込みをお願いしています。煩雑さを避けるため、インターネットのサイトからの申し込みに一本化させていただいております。ご理解ください。もし何か事情がある場合等は、大支援研のサイトのトップページの「お問い合わせ」、あるいは担当者へFAXで連絡をお願いします。
- ☆ 参加申し込み状況に応じて当日の会場配置を決定し、1週間ほど前より大支援研のHPで案内させていただきました。今後も必要な案内をさせていただきますのでwebサイトをご覧ください。
- ☆ 当日の運営に携わっていただいた各支部の役員の先生のおかげで良い研修会になりました。役員の皆様、本当にありがとうございました。
- ☆ 大支援研ニュースを府内各校にメール配信していますが、不十分なところもあり、そのために情報が伝わっていないとも聞きます。今後の改善の検討が必要と考えます。
一部市町村や支援学校などで、関係教職員にメール転送されているところ、案内文配布がされているところがあり、それで知ることができた、という声もありました。各市町村・学校でご協力いただいていること感謝します。